

港区立高輪台小学校

平成31年度 学校経営計画

□学校経営の基本的な考え

子供一人ひとりが大切にされ、家庭・地域社会と連携し、子供たちに確かな学力が身に付き、一人ひとりの良さを発揮できるように学校経営を進める。教職員が使命感と責任感を持ち、常に課題意識をもって迅速に改善にあたり、高め合い協働する学校の実現に努める。

また、港区教育ビジョンでは、社会の変化に対応し、より一層先進的・発展的な教育を推進するため、基本理念「すべての人の学びを 支え つなぎ 生かす」を掲げ、目指す人間像、港区の教育が進むべき5つの基本的方向が示されている。港区立の小学校としてこの実現に向けて、全力で取り組んでいく。

□高輪台小学校の教育目標

心もからだも健康な子

- ・ すすんで学び がんばる子
- ・ 責任を果たし 助け合う子
- ・ 美しいものを 大切にする子

こんな高輪台小学校に・・・

㊦ くましく

困難に立ち向かい心も体も元気にできる場所

㊧ しこく

主体的に学び、考えをもって学び合える場所

㊨ かよく

好ましい人間関係、信頼関係が確立している場所

㊩ くわくする

笑顔いっぱい自信あふれる子供を育てる場所

㊪ れにとっても ㊫ ごこちのよい ㊬ 小 ㊭ 学 ㊮ 校

安全で安心してじっくりと取り組める場所
分かりやすい授業が展開されている場所

成果は、子供の姿で示す。

□ 中期的目標

21世紀を逞しく生きていける子供たちを育てるために・・・生きぬく力

- 基礎学力の定着・学び合いを重視した指導の充実と心の教育の推進に努める様子を保護者・地域住民に知らせ、地域の保護者から、「信頼される学校」になるよう努める。
- お互いの考えなどを認め合う学習集団を育成する。授業改善を進める為には、学級集団が落ち着いていることが重要である。学びの約束を徹底しながら、自由に意見を言い合える集団・フォローし合える集団を育成する。
- 保護者との連携を密にし、基本的な生活習慣を身に付けさせる。特に挨拶の励行、時間の尊重、遅刻児童の減少を目指す。
- 特別支援教育の推進を進め、高輪台ルームがより一層充実し、個性に応じた教育が教室・授業でも展開でき、児童が安心して学べる環境を作る。
- 学級数の増加に対応し、円滑な教育活動を維持しながらの、第2校舎の増設、既存校舎の改修等、学校の施設・整備面を整える。

□今年度の取組

	人権尊重教育の充実 ならぬ事はならぬものです
--	-----------------------------

- 自己肯定感をもたせ、自信をつけさせる指導を行う。
- 教育活動全体を通して道徳性を養い、人の気持ちを思いやり、偏見や差別・いじめをなくす人権教育を推進する。そのため、集団のルールへの遵守、乱暴な言動を見逃さず、いじめは絶対に許さない指導を徹底する。また、子供とよく話し、納得させてから帰宅させる。保護者との連携を密にし、学校・担任はいつも気にかけているという姿勢を示す。
- あいさつ運動やあいさつの大切さに気付かせる指導を充実させ、学校内はもとより、地域でもあいさつのできる児童を育てる。
- 不登校児童の減少 家庭との連絡を密にし、学校・担任はいつも気にかけているという姿勢を示す。欠席児童には、必ず、何らかの方法で連絡を入れる。3日以上連続してお休みの児童には、家庭訪問を行う。
- 東京都人権教育プログラムを熟知し、教職員自らが人権感覚を磨き、児童の指導にあたる。
- 特別支援教育コーディネーター、スクールカウンセラーとの連携を図り、心の教育を推進する。

	健康な心と体の育成
--	-----------

- オリンピック・パラリンピック教育を推進する。

- ・「オリンピック・パラリンピックの精神」「スポーツ」「文化」「環境」の四つのテーマと四つのアクション(学ぶ、観る、する、支える)を組み合わせた年間 35 時間の年間指導計画に則った指導の充実
- ・オリンピック等を講師に迎え、夢に向かって努力することの大切さを児童に伝え、意欲をもたせる指導を行う。
- スポーツテストの結果を生かし、本校の児童に必要な運動（特に、柔軟性を高める運動）を体育朝会や体育の授業で計画に行う。
- 保健指導、食育を充実させ、「早寝、早起き、朝ごはん」を推進する。
- 特別支援教育を充実させる。
 - ・特別支援コーディネーター、巡回指導教員を中心とした高輪台ルームにおける指導の充実を図る。
 - ・適正就学、適正支援を配慮した保護者への支援を行う。

	授業で育てる 教えることと学ばせること
--	--------------------------

楽しく分かる授業作りを進める。

授業で、基礎・基本となる学力の確実な定着を目指す。

- 学習規律を確立させる。
 - ・話を聞く姿勢、授業の始まり、終わりの徹底、発表の仕方、ノートの取り方等、高輪台小学校の約束を徹底する。(学びの約束)
- お互いを認め合う教室をつくる。
 - ・互いの考えなどを認め合う学習集団を育成する。
 - ・何かを学ぶ過程では、誤解をしたり間違いをおかしたりすること、すぐには理解できないこと、うまくできないことは、当然あり得る。これらを生かして集団の理解を深め、互いの考えをうまく伝えられるように表現を工夫させる。
 - ・特別活動の時間も、学習集団の育成に活用する。
- ◎新学習指導要領を踏まえた主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に努める
 - ・意欲をもたせる指導をする。
 - ・主体性を高める課題を分かりやすく提示し、それを解決していけるように学習を組み立てる。(課題解決型授業を行う)
 - ・思考スキルを活用して学習のねらいに迫る授業をする。
 - ・学習方法を身に付けさせる。
 - ・学び合いを大切に授業づくりをする。
 - ・ICT機器(PC・電子黒板・書画カメラ等)を活用する。
 - ・学習の振り返りや適切な評価を行い、次の意欲へとつなげるようにする。
- 学力調査の結果を分析し、本校の児童に必要な学力を身に付けるための指導方法や指導内容を検討し、日々の授業で計画に行う。
- 校内研究を充実させる。
 - ・問題解決型の授業研究(授業6本)をし、実践にも生かす。
 - ・研究協議会を充実させる。
- 基礎・基本の確実な定着を図る。
 - ・東京ベーシックドリルを活用しての指導を行い、より確かな定着をめざす。
- 学習習慣を身に付けさせる。

- ・計画的な朝学習や家庭学習の習慣を身に付けさせる。
適切な宿題の量・自主学習の質・速やかな点検

家庭学習週間の取組

- 週案簿を活用し、PDCA のサイクルで学習内容の計画的な指導、適切な時数管理を行う。（金曜日の帰り、又は、月曜日朝に提出）
- 区教研への主体的な参加
 - ・年間を通して、専門教科を決め、専門性を身につけられるようにする。

	地域の学校・高松アカデミーとしての取組
--	---------------------

- 外部人材を積極的に活用し、地域と連携した活動を学習活動に取り入れ、地域を愛する子供を育てる。
 - ・地域コーディネーターを活用し、出前授業や地域ボランティアの充実を図る。
 - ・高松中学校、東海大学付属高輪高校との連携（6年生）
 - ・幼稚園、保育園との連携（1年生、5年生）の充実
 - ・東海大学との連携（全学年、子どもカレッジ等）
- 校外学習や地域での活動を通して子供に自信をつけさせる。そのために、事前指導を徹底し、子供が自信をもって行動できるよう丁寧な指導を行う。
- 学校教育の透明性を図り、理解を得られるように情報を発信し、ホームページの更新に努める。

	チーム高輪台としての組織の力
--	----------------

- 企画会、主幹会、学年会を通して、教員一人ひとりが見通しをもって計画的に日々の教育活動を進められるようにする。
- 報告・連絡・相談を確実に言い、情報を共有する。
- 分からないこと、疑問なこと、困ったことが生じたとき、支援が欲しいとき等、躊躇せず声にする。
- 互いの良さを活かして学び合い、助け合い、OJT の円滑な運営を行う。
- コミュニケーションを基盤としたチームワークで学年間の連携を図る。
- PDCA のサイクルに基づき短いスパンで分掌ごとに評価を行い、迅速に改善を図る。
- 学校評価を前期・後期で行い、問題は速やかに改善につなげる。評価アンケートを7月・12月に実施する。
- 分担した仕事は、責任をもって遂行する。前例踏襲にとらわれず、常に創意工夫をする。

	学びの環境としての学校
--	-------------

- 言語環境の整備
 - ・時と場に応じた言葉遣い
 - ・友達同士の呼び方、普段の子供への呼び方
- 花と緑に囲まれた潤いのある環境

- ・プロムナード、校内外の花壇、教室等の花と緑の環境、屋上花壇の活用
植木鉢は整然と並べ、児童数を揃える、いつまでも途中のままにしない
- 常に整理整頓に心がける。特に教師自ら手本となる。
 - ・校務センター 机上整理・棚の上には荷物を置かない
消せるボールペンは使用しない
 - ・廊下にもものを置かない。
- 学び合いの場としての掲示板を活用する。シンプルな教室掲示を心がける。
 - ・人権に配慮した掲示物（誤字・脱字・明らかな間違いのある作品、未完成の作品等）
 - ・季節感のある掲示
 - ・掲示物の更新を一ヶ月を目途に計画的にする。
 - ・全児童の作品を掲示・タイトルやコメントの工夫
- ちょっと見参観等、教員同士が授業を見合う機会を日常化し、お互いの指導に関心を持たせる。
- 道具類の定位置を決め、使った後の後片付けを徹底する。
 - ・清掃の行き届いた清潔感にあふれ、整理整頓された教室

	安心・安全な学校
--	-----------------

- ようこそその気持ちが表れる対応をする。
 - ・来校者、保護者への挨拶は、率先してする。
 - ・電話での素早い丁寧な対応。 用件の確実な連絡をする。
- 登下校中の事故防止や、マナー・ルールを身に付けた子供を育てる。
- 朝の健康観察の確実な実施と速やかな連絡
- 防災教育の充実
 - ・防災ブック「東京防災」や防災ノートを活用した指導を行う。
 - ・地域の防災ネットワークと連携した防災教育を充実する。
- 第2校庭の工事が年間を通して行われる。児童の登下校等安全を最優先した動線を保し、事故防止に努める。合わせて、水泳指導の為に港南小学校への移動、給食室工事のためのお弁当給食等、児童の生活が日常と変わることを最低限に抑える努力をしていく。

	サービスの厳正 自らの姿勢を正す
--	-------------------------

- 公教育に携わる者としての自覚をもち、サービスは厳正な態度で臨む。
- 危機管理意識を磨く努力をする。
- コスト意識をもって、教育効果をあげる。
- 光熱費の削減、ゴミの分別、再利用等に取り組む。
- 個人情報の管理の徹底を図る。
- 私費会計の適正な処理をする。会計簿の作成、会計報告を学期ごとに行う。
- 子供に指導することは、自らが実践する。
- 服装を整える。

最後に

丁寧に 確実に 見届ける 指導を行う。

Aあたりまえのことを **B**ばかにしないで **C**ちゃんとやりましょう

Dどんなときも **E**えがおで **F**ファイト